

あなただけの旅、見つけよう

# みちのり

Take

FREE

冬

2025

ご自由にお持ちください

◎連載

ごちそうパレット

〈会津若松市〉

終点をたずねて

〈五峰の湯〉最終回



◎特集1

## 冬こそ温泉！ 温泉宿と冬グルメ堪能

◎特集2 ツウさんぽ

## 歴史と文化が息づく 梅香る水戸へ

## 新酒と魚介、旬の八戸を味わいに



※「陸奥八仙 ISARIBI 特別純米 生原酒」は  
2026年1月発売予定。

### 八戸酒造

南部バス「八戸ラピアバスターミナル」から  
「岬台団地」行き約6分の「小中野」下車、徒  
歩5分。直売所・蔵見学は10時～16時30分  
(所要約40分)、土・日休(営業日は公式ウェ  
ブサイト・SNSで要確認)。☎0178・20・0443



新酒の季節、収穫したての  
お米で造る非加熱でフレッ  
シュな生酒は、この時季なら  
ではお楽しみ。普段日本酒  
になじみのない方にも、ぜひ  
味わってもらいたい季節です。  
そこで今回紹介するのが、  
イカの水揚げ日本一で有名な、  
青森県八戸市の『八戸酒造』  
さん。代表銘柄「陸奥八仙」  
の新酒「ISARIBI 生原  
酒」は、港町らしく「漁師さ



実りの秋、新米にこうじ菌を合  
わせていく製麹(せいこう)工程  
から新酒造りがスタート。蔵人  
たちが「熟練の技で米のうま味を  
閉じ込めています」。

んと「食中酒」がコンセプト。  
モダンなラベルも、イカ釣りの  
漁火をイメージしています。  
その特徴を私の言葉でお伝  
えすると、「名助演俳優」。魚  
介類に合わせて味わうことを

## 日本酒 ハンター が行く！ 7 vol.

Kitajima Kazumasa  
北島和将

旅雑誌や情報誌のカメラマン  
として10年以上活動。取材で  
訪れた全国各地で3000銘柄  
を超える酒に出会い、いつしか  
日本酒に魂をささげよう。に。  
2023年に自身の日本酒バー  
『酒魂』を東京・谷中にオー  
プン。18～23時、月休。  
☎050・1808・1023



念頭に造られているため、主  
張し過ぎることなく引き立て  
役に回ってくれて、日本酒と  
食のペアリングを大切にしてい  
る私の店にぴったりです。  
「陸奥八仙」の中では比較的辛  
口で、舌をくすぐるような優  
しいガス感を生酒ならでは。  
店でもカニやエビ、ホタテな  
ど、海のものに合わせることに  
多いですが、やっぱり一番  
はイカですね。シンプルにイ  
カ刺し、最高です。  
「陸奥八仙」とともに「陸奥  
男山」も有名で、どれを飲ん  
でも間違いない蔵。1775  
年(安永4)創業の長い歴史に  
基づく技術の高さと品質で、  
多くの酒好きをうならせてい  
ます。米は全て県産米、県の  
オリジナル酵母をメインに使  
うなど、青森に深く根差して

いて、最近では地元農家と協  
力して造る果実酒や、ビール  
と日本酒を足して2で割った  
ような新ジャンルのお酒も醸  
造。知名度や人気にあらを  
かかず、挑戦し続ける素晴ら  
しい酒蔵さんです。  
蔵見学も手厚く、試飲付き  
で行われています。大正時代  
に建てられた煉瓦蔵や土蔵な  
どは、国の登録有形文化財  
市の景観重要建造物に指定。  
おいしいお酒と旬の味覚を味  
わいに、ぜひ冬の八戸に足を  
運んでみてくださいね。



白壁に記された「男山」の文字が勇  
ましい西蔵は、1919年頃の竣工。  
貯蔵用の蔵として使われ、断熱性  
や通気性に優れた置き屋根構造と  
なっています。

## 伝統の上に 新たなサービスを 乗せて

「みちのり」グループには  
100年を超える歴史を持つ会社もあり、  
地元密着で皆さまの足となり支えてきました。  
でもそれだけではないんです。  
新しい路線・車両、無線LANやバス接近情報など、  
便利・快適・安全のための革新に日々取り組んでいます。  
遠くまで／近くでも、出張に／観光に、  
一人で／みんなで、これまでも／これからも。  
あなたのそばに新しいみちのりが  
あるかもしれません。



## MICHINORI

- 岩手県北自動車【盛岡】
- 福島交通【福島】
- 会津乗合自動車【会津若松】
- 関東自動車【宇都宮】
- 茨城交通【水戸】
- 湘南モノレール【鎌倉】
- 佐渡汽船【佐渡】

みちのりグループの  
高速バスについて  
詳細はこちら



## INDEX

04 特集1

冬こそ温泉！  
温泉宿と  
冬グルメ堪能

20 特集2

ツウさんぽ  
歴史と文化が息づく  
梅香る水戸へ

27 みちのりのりもの図鑑

28 みちのりイチオン  
冬イベント

32 ごちそうパレット

会津若松市  
恋するご当地民芸  
盛岡市

40 終点をたずねて  
五峰の湯 (関東自動車)  
最終回

42 みみより  
NEWS&TOPICS

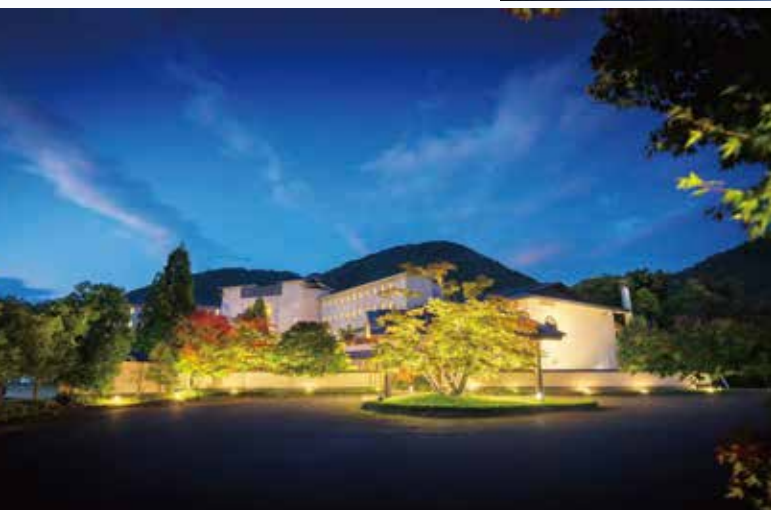


紹介物件の名称、営業時間、休み、値段の情報は変更が生じる場合があります。年末年始・大型連休については各施設・店舗にお問い合わせください。誌面に表記されている金額は税込みです。

飯坂の恩恵を  
存分に満喫できる  
上質な温泉リゾートホテル  
**摺上亭大鳥**  
〈福島県福島市〉



雪化粧のエントランスの庭園。



会席料理の夕食コース「福島お膳」には地の物が満載。特選福島牛ステーキなどのメニューも追加オーダー可能。



客室(和室10畳)の一例。1泊2食付き2名1室利用1名1万7600円～3万9050円(平日～土曜・休前日の料金。料理によって料金は異なる)。

豊かな山林を背景に、自家源泉の露天風呂や心地よい安らぎに満ちた客室でもてなす観光ホテル。ゆったりと広い大浴場はもちろんサウナや水風呂も備え、飯坂の名湯を昼夜問わずに満喫できるのもうれしい。福島牛や会津コシヒカリ、季節の地酒など福島の食の魅力を尽くした夕朝食も、ぜいたくな時間をもたしてくれる。好みの色柄が選べる「色浴衣」や温泉玉子作り体験など、この宿ならではのサービスも多彩に用意している。

●福島交通飯坂線「飯坂温泉駅」から徒歩20分。  
☎024・542・4184

ホテル内バー



日本酒 Bar 香林

福島県内全ての酒蔵の日本酒を取りそろえたバーも人気。好みの銘柄を自由に選べるのはもちろん、スタッフおすすめ3種の飲み比べも楽しい。

福島県内産の鮫川石で造られた開放的な湯船に自家源泉が注がれる『摺上亭 大鳥』自慢の露天風呂。



冬にこそ温泉！

# 温泉宿と冬グルメ堪能

心洗われるような白銀の雪景色を求め、体の芯まで温もるいで湯の至福を。情緒ある温泉街を散策したり、ご当地の味覚も楽しんでみては。

鱒湖湯



飯坂温泉

東北屈指の古湯

奥州三名湯の一つで、日本武尊が発見したという伝説をまとう古湯。1689年(元禄2)に俳聖・松尾芭蕉が弟子の曾良と一緒に訪れ、この地で一夜を過ごしたと伝わっている。摺上川の両岸に温泉旅館が立ち並び、温泉街には「鱒湖湯」をはじめと

FUKUSHIMA

して8軒の共同浴場が点在。芭蕉の他にも正岡子規、与謝野晶子、ヘレン・ケラーら著名人たちが訪れ、効能豊かな飯坂の湯を楽しんだ。

飯坂温泉駅前  
で出迎えてくれる松尾芭蕉の像



A photograph showing the interior of a restaurant or bar. The space is warmly lit with orange and yellow tones. In the foreground, there are wooden tables and chairs. In the background, a long wooden bar or counter is visible, with a person standing behind it. The walls are a warm, textured orange color, and there are some decorative elements on the bar.



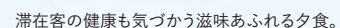
板室温泉  
神社



那珂川上流の山あい  
にあり、平安時代に那  
須三郎宗重が狩りのた  
めに山の奥へ分け入った  
折りに発見したと伝わる。

# 板室温泉

心連ふ雲谷の里



清流のせせらぎが  
響く温泉郷で  
現代アートと温泉に没頭  
板室温泉  
大黒屋

〔栃木県那須塩原市〕



季節の移ろいを肌で感じられる露天風呂の  
冬は、目の前に純白の景観美が広がる。

この冬イチオシ!



ほど良く中身が見えて、ほど良く中身を隠せる。大ざっぱに入れられて、風通し良く持ち歩ける。ハリがあるから自立する。温泉旅行にはもちろん、ジムや銭湯での移動にも、かばんの中の仕分けにも。そのうち、気軽なふだん使いにも。



●関東自動車「那須塩原駅西口」から「板室温泉」行き約50分の終点下車、徒歩2分。  
☎0287・69・0226

木下川併設



現代美術作家・菅木志雄(すが・きしお)の作品のみを常時展示している。予約制で、館内や庭で展示されている作品をスタッフのガイド付きで鑑賞できる(入館770円)。



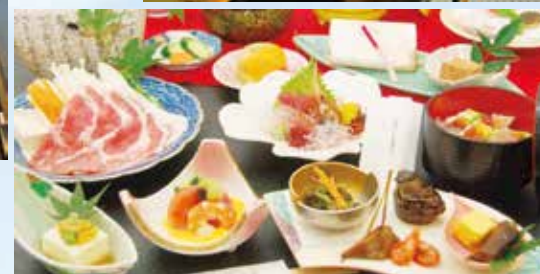
最上階にある総ヒノキ造りの露天風呂。快晴の日は、満天の星が間近に感じられる。

飯坂温泉駅から十綱橋（とつなばし）を渡ってすぐ、温泉街散策に便利なロケーション。かつて小学生の野口英世が武藤校長と共に過ごした宿としても知られる。飯坂温泉で唯一、展望露天風呂を備えており、最上階の露天風呂ではこの上ない爽快感が味わえる。和が基調のしっとりと趣深い客室は、都会の騒がしさを忘れたのんびり過ごすのにもってこいだ。

●福島交通飯坂線「飯坂温泉駅」から徒歩2分。  
☎024・542・3333



愛犬家に大好評だという  
ドッグラン付き和室(12.5  
畳)。1泊2食付き2名1室  
利用1名1万4500円～。



福島県産豚すき  
焼きなど自慢の  
メニューが並ぶ  
夕食の会席料理。

(ちよつと) ち寄り

江戸時代の豪農・豪商の旧家を、補修・復元・一部新築で整備した飯坂温泉の観光交流拠点。邸内を自由に見学できて、足湯も楽しめる。

●福島交通飯坂線「飯坂温泉駅」から徒歩7分。9～21時、無休(臨時休業あり)。☎024・542・8188



## FUKUSHIMA

およそ1300年前、名僧・行基が発見したという由緒が伝わる温泉郷。江戸時代に会津藩の湯治場として栄えたことがきっかけで発展を遂げた。温泉街の散策とともに、会津藩ゆかりのスポットもぜひ。西郷頼母の屋敷を中心に歴史的建造物が軒を連ねる屋外博物館「会津武家屋敷」の見学を通して、会津の歴史にも触れてみたい。



会津武家屋敷

竹筒に入れたろうそくの火が庭園を照らす「雪見ろうそく」。冬に滞在する最大の醍醐味は「雪見ろうそく」だろう。12月20日～2月28日の期間、敷地内に120本以上のろうそくがともされ、まるで絵画のような情景が感動へと誘う。「きつね湯」をはじめ自家源泉の温泉で、しみじみと余韻に浸る時間も満喫してほしい。



会津藩指定保養所の名残を伝える「きつね湯」で楽しめるのは、熱めの温度で湯冷めしにくい自然湧出の自家源泉。



「雪見ろうそく」を室内から楽しめる中庭向きの客室の一角「水仙の間」。1泊2食付き2名1室利用1名3万1000円～3万9800円。

## 会津東山温泉向瀧

（福島県会津若松市）

趣深い古建築の宿を照らす幻想的な雪中のともしび



会津の郷土料理を取りそろえた夕食の一例。



●会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「あかべえ」約16分の「東山温泉駅」下車、徒歩1分。  
☎0242・27・7501

## 東山温泉

会津の奥座敷



長い時を経て洗練された懐古の宿で過ごすぜいたく時間  
お宿花かんざし

（福島県二本松市）



たっぷりとした湯の花が舞う温泉に落ち、すだれからのぞく庭園美も風情あふれる大浴場。

## FUKUSHIMA



温泉街の入り口

安達太良山の標高約600mに位置し、今も湯守の文化が残る酸性湯の温泉郷。湯元から約8kmの距離から引き湯をすることでお湯が揉まれて、肌に優しい。風情ある温泉街には、1948年創業の『成駒』などの食事処もあり、冬は湯治客やスキー客などでにぎわう。

## 岳温泉

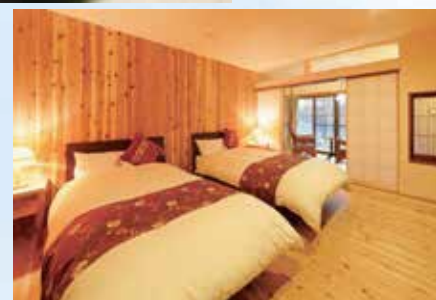
高原の癒やし湯



「成駒」のあだたらカレー



請戸漁港から直送の「常盤もの」の魚介などに創意工夫を凝らした献立を用意。



上／露天風呂付きの特別客室「宵待草」。1泊2食付き2名1室利用1名4万1250円～。



●福島交通「二本松駅前」から「岳温泉」行き約28分の終点下車、徒歩2分。  
☎0243・24・2110（受付時間9～21時）



右／特別客室の信楽焼の露天風呂は大人2人でも十分な大きさ。



湯煙越しに眺める水辺の景観が情緒  
たっぷりの露天風呂「太子の湯」。



山峡の絶景を望む展望の宿で  
土湯の名湯を存分に堪能  
水織音の宿 山水荘  
〔福島県福島市〕

## FUKUSHIMA

沿って温泉街が発展し、旅館やホテル、日帰り温泉施設が立ち並ぶ。遠刈田、鳴子と並ぶ三大こけし発祥地の一つとしても知られ、熟練の工人たちが手掛けた土湯こけしを販売しているほか、絵付け体験なども楽しめる。



土湯こけしの顔出しパネル

吾妻山麓の山間にある、神代の伝説に由緒を持つ古湯の里。大きくカーブを描く荒川に

## 土湯温泉

溪谷の温泉郷

溪谷の景観美を客室や浴室から楽しめて、千坪の日本庭園が風雅な趣を演出する温泉宿。なんといっても、荒川のせせらぎとともに二段の滝の音が響き渡る展望風呂に圧倒される。さらに、館内には4つの貸し切り風呂などもあり、ゆったり温泉ざんまいを満喫できるのがうれしい。2023年に誕生した露天風呂・半露天風呂付きの客室「紫水亭」では、ワンランク上の優雅な滞在が楽しめる。



しっとりした和の心地よさを感じる客室「花鳥苑」。1泊2食付き2名1室利用1名2万2150円～2万9850円。



まさに絶景独り占めの露天風呂・半露天風呂付き客室「紫水亭」。1泊2食付き2名1室利用1名3万5350円～5万4050円。

地場産の新鮮な食材を集めた夕食の会席料理は、調理の水も桐ノ森(とがのもり)の伏流水を使用するというこだわりよう。



●福島交通「福島駅東口」から「土湯温泉」行き約40分の終点下車、徒歩6分。  
☎024・595・2141  
(受付時間9～18時)



郷土の滋味を楽しむ

# 温泉宿の冬グルメ

効能豊かな温泉はもちろん、ご当地ならではの食材や郷土料理が  
味わえる温泉宿自慢の食事も滞在の大きな喜びとなる。  
宿泊客だけが堪能できる旬の味覚をぜひ楽しみたい。

旬の魚介や佐渡産コシヒカリなど、  
この地ならではの素材に技を凝ら  
した献立が味わえる会席料理。

## NIIGATA HOTEL AZUMA

〈新潟県佐渡市〉

### 老舗料亭の誇りでもてなす 海辺の温泉リゾートホテル

佐渡市西部の二見半島にある七浦海岸に臨む夕映えの宿で、客室や大浴場の露天風呂などから、雄大な海の眺望を楽しむことができる。前身は大正時代創業の「料亭 阿づ満」で、その伝統はこの宿で提供される食のもてなしに息付いている。佐渡沖で取れる新鮮な魚介をはじめ地場産の米や野菜などにこだわり、心華やぐ彩りを大切にしたい会席料理が、宿泊客の満足を満たしている。

露天風呂付きオーシャンテラスの客室。1泊2食付き2名  
1室利用1名4万8320円〜。



相川長手岬（ながてみさき）温泉のいで湯が満喫できるホテル2階の絶景の露天大浴場。



●両津港・小木港から車で約1時間。  
☎0259・74・0001



ホテルの海側には約7千坪の日本庭園が広がる。佐渡ブルーの空と海は格別だ。

### もっと冬グルメ

#### 古民家空間 京町亭 「京町亭のカレー」1500円

相川地区の古民家を改装した食事処で、佐渡の旬を大切にしたいメニューが味わえる。佐渡産ベニズワイガニをあしらった看板カレーは、見た目にもインパクトのある一品。



●両津港から車で約45分、小木港から車で約1時間。11時30分～14時LO（夜は3日前までの予約制）、火・水休（祝日の場合営業）。☎0259・67・7538



イワナや山菜、キノコ、自家栽培の野菜など、町場では貴重な食材をふんだんに使った宿泊料理の一例。

鍋料理は2種類から1つ選ぶ。上／岩魚の山賊鍋、下／短角牛の陶板焼き。



📍 IWATE

## 松川温泉 松川荘

〈岩手県八幡平市〉

大自然の息吹を肌で感じながら  
山の恵みを楽しむ味覚の喜びを

十和田八幡平国立公園内にあり、山伏が発見したという秘境の温泉郷。1960年開業の『松川荘』は、山岳レジャーや八幡平アスピーテラインのドライブを楽しむ観光客に愛された宿で、2つの源泉からもたらされる温泉と、山の恵みを存分に味わえる食のもてなしが人気の理由。イワナや季節の山菜など、野趣に富んだごちそうの数々をじっくり堪能してほしい。



岩魚

オプションメニューも用意しており、「岩魚の骨酒」と「岩魚の刺し身」どちらもオーダーしたい逸品だ（要予約）。



●岩手県北バス「盛岡駅前(東口3番のりば)」から「松川温泉」行き約1時間42分の「松川荘口」下車、徒歩7分。☎0195・78・2255



上／白濁した湯で満たされた男女混浴の露天風呂。左／部屋トイレ、パウダールーム付きで広々とした一般客室。1泊2食付き2名1室利用1名1万8000円。



雪化粧した冬の渓谷。

## 📍 FUKUSHIMA 芦ノ牧温泉 丸峰観光ホテル

〈福島県会津若松市〉

渓流の絶景に恵まれた温泉宿で  
会津伝統の味わいに舌鼓

阿賀川の渓谷沿いにあり、露天風呂や大浴場の窓から眺める壮大な自然のパノラマが見事。もちろん客室からも美しい景観を望むことができ、優雅な滞在を楽しめる。夕食は、会津伝統の味覚を用意。2024年にニューオープンしたビュッフェレストランでは、できたての天ぷらやステーキを提供するライブキッチンが好評。個室食事処もあり、山海の幸を尽くした会席膳も堪能したい。



●会津バス「若松駅前バスターミナル」から「芦ノ牧(大川発電所前)」行き約47分の「芦ノ牧丸峰前」下車、徒歩1分。☎0242・92・2121(受付時間10～19時)



上／ヒノキの露天風呂が利用できる客室。1泊2食付き2名1室利用1名2万7500円～。左／鳥のさえずりや木々の葉ずれの音が優しく心を癒してくれる露天風呂。



●会津鉄道会津線湯上温泉駅から車で約15分。☎0241・68・3611(大内宿観光案内所)

### 大内宿「しんごろう」1本250円

かやぶき屋根の民家が並ぶ「大内宿」へ足を延ばして、『みなとや』で販売している南会津の名物「しんごろう」を。半つきのご飯を串に刺し、じゅうねん味噌(エゴマ味噌)を塗って焼いた郷土料理で、素朴な味わいがたまらない。



### 牛乳屋食堂 「ミルクみそラーメン」1150円

上三寄駅(現・芦ノ牧温泉駅)の開通を機に、駅前で牛乳を販売したのが始まり。一番人気の「ミルクみそラーメン」は牛乳と味噌の相性が抜群で、よりまろやかなコクを楽しめる。

●会津バス「若松駅前バスターミナル」から「芦ノ牧(大川発電所前)」行き約35分の「芦ノ牧温泉入口」下車、徒歩1分。11時～14時45分・17時～19時45分、火曜の夜・水休。☎0242・92・2512

もっと冬グらしメ

# 冬こそ行きたい 温泉宿

冬のレジャーで冷えた体を温泉でほんわか温めよう。



## ⑦ 朱鷺伝説と露天風呂の宿 きらく 〈新潟県佐渡市〉

加茂湖畔に立つ眺望の宿。加茂湖、大佐渡山脈を一望できる「朱鷺の舞湯」で、見事な眺めを楽しめる。佐渡近海の海の幸を使った夕食を味わうことができ、冬はベニズワイガニが人気。●両津港から車で約5分、小木港から車で約1時間。1泊2食付き2名1室利用1名1万2800円～。☎0259・27・6101



## ⑧ あかどまり城が浜温泉 サンライズ城が浜 〈新潟県佐渡市〉

城が浜海岸のビーチがすぐ目の前に広がる温泉宿で、海に面した客室がおすすめ。疲労回復が期待できる温泉が、ツーリング客などに好評。●小木港から車で約20分、両津港から車で約1時間。1泊2食付き2名1室利用1名1万1200円～。☎0259・87・3215

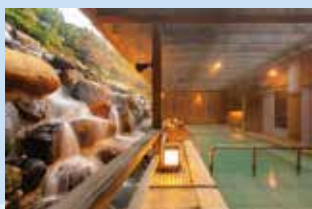


## ⑤ いそざき温泉 ホテルニュー白亜紀

〈茨城県ひたちなか市〉

県指定天然記念物の中生代白亜紀層にちなんだ温泉ホテル。「白亜紀の温泉」の露天風呂では、太平洋の海原を一望できる。●ひたちなか海浜鉄道那珂湊駅からスマイルおおぞらバス「那珂湊コース」約17分の「柴田屋・ホテルニュー白亜紀入口」下車、徒歩9分(1日4便のみ運行)。1泊2食付き2名1室利用1名1万4520円～。☎029・265・7185

## ⑥ 益子館 里山リゾートホテル 〈栃木県益子町〉



益子の里山でのんびりと過ごせる温泉リゾートホテル。益子焼の浴槽や寝湯枕など、陶芸の町ならではのフレイバーがあちこちに凝らされている。●関東自動車「宇都宮駅西口」から「益子駅」行き約1時間14分の終点下車、車で約5分。1泊2食付き2名1室利用1名1万5423円～。☎0285・72・7777

①



## ① アツペの森 いわき荘

〈青森県弘前市〉

ナラ自然林の中にある見晴らし抜群の温泉宿。熱の湯と呼ばれる百沢温泉の湯を、青森ヒバの大浴場で楽しめる。岩木山麓の山の幸をふんだんに使った「津軽かかやま料理」の夕食が絶品。●弘前駅から車で約30分。1泊2食付き2名1室利用1名1万3200円～。☎0172・83・2215(受付時間9～20時)

②



## ② 盛岡つなぎ温泉 四季亭

〈岩手県盛岡市〉

純和風の数寄屋造りの宿で、平安時代末期から続く盛岡つなぎ温泉のいで湯を満喫できる。露天風呂付き客室もあり、優雅な滞在が楽しめると好評。岩手県産の食材にこだわった夕朝食も彩り華やか。●盛岡駅から車で約25分。1泊2食付き2名1室利用1名3万6300円～。☎019・689・2021

③

④

⑥

⑤



## ③ 那須温泉 山楽

〈栃木県那須町〉

大正12年創業で、昭和天皇も来館したこともある老舗の名宿。自家源泉の湯を、約30畳の大露天風呂で満喫できる。●関東自動車「那須塩原駅西口」から「那須湯本温泉」または「大丸温泉」行き約39分の「新那須」下車、徒歩2分。1泊2食付き2名1室利用1名2万8000円～。☎0287・76・3010

## ④ 横川温泉 元湯 山田屋旅館 〈茨城県常陸太田市〉



気鋭の地元建築家が手掛けた和モダンの宿。県内トップクラスのアルカリ度を誇る天然温泉は美肌効果に期待ができる。●茨城交通「常陸太田駅」から「小中」または「里川入り口」行き約45分の「折橋十文字」下車、徒歩26分。1泊2食付き2名1室利用1名1万6100円～。☎0294・82・2236

弘道館の内部は、  
今も藩士たちの  
息遣いが聞こえそうなほど、  
凛とした空気が  
保たれている



梅尽くしの銘菓を  
味わいながら、  
偕楽園の梅に込められた  
斉昭の願いに  
思いを馳せる



観梅季を迎えた  
偕楽園は、水戸の  
梅文化を象徴する  
圧巻の景観だ



# 歴史と文化が息づく 梅香る水戸へ

水戸藩主・徳川斉昭が創設した  
偕楽園では、冬の終わりに春先にかけて  
約100品種3000本の  
梅が見頃を迎える。  
斉昭は梅を愛し、学問を好めば花開くという  
故事から「好文木」と呼び、  
水戸に梅の文化を根付かせた。  
梅の季節、梅林を散策し、  
梅モチーフの提灯が灯す温かな光や、  
梅を使った菓子の優しい味わいを  
堪能しながら、  
歴史と文化が織り成す水戸の魅力に  
触れる旅に出掛けよう。

ユニークな  
デザインを施した  
多彩な提灯に、  
古風なイメージを  
覆される



全面をガラスで  
覆われた好文cafeは、  
暖かな日差しが  
心地よい



伝統工芸士が  
手掛ける水府提灯。  
手描きする梅花が  
美しい



# MITO



気軽に  
立ち寄って、  
のんびりして  
いってくださいね



左／広い庭園を散策したあとに立ち寄りやすい場所にあるのもうれしい。上／店内に用意されたお休み処で、偕楽園の梅を堪能できる。

偕楽園の東門近くで40年続く茶屋

## 水戸黄門茶屋

名物は偕楽園の梅を使った梅干し大福だ。地元の和菓子店「京風和菓子 五條」と共同開発した大福で、求肥を割ると白あんに包まれた梅干しが丸ごと1個入っている。白あんの優しい甘さと、塩抜きした梅干しの酸味、ほんのり残る塩味のバランスが絶妙で印象深い。梅まつり時期には、温かい梅ジュースが散策で冷えた体に温もりを運んでくれる。

●茨城交通「水戸駅(北口)」から「偕楽園方面」行き約18分の「偕楽園・常磐神社前」下車、徒歩3分。10～16時、不定休。  
☎029・225・6830

文武両道の人材育成に注力した  
日本最大規模の藩校

## 弘道館

藩士とその子弟が儒学や礼儀、歴史や天文学など幅広い学問を学ぶ場として斉昭が創設。また、剣術や槍術、馬術、水泳などにも力を入れ、文武を共に備える優れた人材を育成した。偕楽園とともに梅の名所として知られ、冬の終わりから春先にかけて、約60品種800本の梅が次々と咲き誇る。梅が見頃を終えると、左近の桜(山桜)が満開となり、本格的な春が訪れる。

●茨城交通「水戸駅(北口)」から「弘道館・県立歴史館 経由偕楽園」行き約3分の「弘道館」下車すぐ。9～17時(10月1日～2月19日は16時30分まで)、12月29～31日休。入館420円。☎029・231・4725



斉昭公が記した種梅記の展示からは、なぜ梅を育て、重宝したかが読み取れる。



幾度の戦火を免れた正門、正庁および至善堂は国指定の重要文化財に指定されている。

## EVENT

### 水戸の梅まつり

初めて水戸藩を訪れた時に梅の木があまりなかったことを嘆いた斉昭が、江戸で梅の実を集め領内に植えさせた。やがて梅の数は増し、多くの人が偕楽園へ観梅に訪れるようになった。「水戸の梅まつり」が始まったのは今から100年以上前のこと。今では多くの人に愛される水戸を象徴するイベントに発展した。☎029・224・0441(水戸観光コンベンション協会)



開催期間  
2026年2月11日(水)～8月22日(日)

日中は鮮やかな梅花を楽しめ、夜は華麗なライトアップに酔いしれることができる。

偕楽園の散策を終え、東門そばにある『水戸黄門茶屋』へ向かうと、店主の武士芳也さんが気さくに迎えてくれた。冬の空気で冷えた体に温かい梅ジュースが染み渡る。梅シロップとハチミツをブレンドしたこの一杯は、酸味と甘さが絶妙で散策の疲れを癒やしてくれる。梅干しが種ごともまるまる1個入った大福は、その大胆さに最初は驚いてしまう。だが、梅干しの甘酸っぱさを優しい甘さの白あんにマイルドに包み込んでいる。そのバランスの良さがクセになる味だ。あんに梅干しを練り込んだ「水戸梅小町」は、見た目もまるで梅干しのよう。ほんのりとした甘さに爽やかさが加わって、後味の良い一品だ。

偕楽園が休息と交流の場なら、弘道館は学びと鍛錬の場。この場所まで藩士たちは多くのことを学び、武芸に励んだとか。また、館内に展示された『種梅記』を見れば、斉昭が梅をただ愛でるだけでなく、食料や薬として活用する実学の精神を大切にしていたことが伝わってくる。偕楽園と弘道館、この二つの施設を巡ることで、文武両道を重んじた斉昭の思想がより立体的に見える。

梅まつりは明治時代半ばに始まり、今では国内外から30万人近くが訪れる一大イベントになった。例年、偕楽園



### 孟宗竹林

表門を入ると現れる鬱蒼とした孟宗竹林。静寂に包まれた竹の道は、心を整える「陰」の思想を想起させる。



### 吐玉泉

大理石の井筒から湧き出る清水が眼病に効くとされ、かつては多くの人が訪れた。ひっそりとする姿は、偕楽園の隠れた名所だ。

日本三名園の一つにも数えられる  
梅の名所

## 偕楽園

水戸藩第9代藩主・徳川斉昭が1842年(天保13)に創設した庭園で、梅の名所として知られている。12月の早咲きから3月の遅咲きまで、次々と花を付け、訪れた人の目を楽ませる。園内は儒学の教えに基づく「陰と陽」の世界観を体感できる設計になっており、空間に学問を落とし込んだ斉昭の美意識の高さもこの庭園の見どころの一つだ。

●茨城交通「水戸駅(北口)」から「偕楽園方面」行き約18分の「偕楽園・常磐神社前」下車、徒歩2分。6～19時(10月～2月中旬は7～18時)、無休。入園320円。  
☎029・244・5454(偕楽園公園センター)

好文章はその故事に由来し、斉昭によって名付けられた。最上階からは眼下に梅林と千波湖が織り成す景色を一望できる。「竹林が演出する陰の世界から始まり、気付けば視界が開けて明るい世界になったでしょう。これこそ精神の緊張と弛緩のバランスを重んじた斉昭が意図した『陰から陽へ』の空間演出なんです」と瀬戸さんが教えてくれた。

### 好文章表門

落ち着いた雰囲気を持つ黒い門は、偕楽園が体現する「陰と陽」の世界への導入としての役割を果たす。



### 好文章

左／斉昭自らが別邸として設計した好文章には、彼の思想や人物像を垣間見る。

右／3階からは千波湖までの園内を見渡せる。梅の時期は実に壮観だ。



好文章を出て芝前門を抜けると、一面に梅が咲き乱れる東西梅林が広がり「陽」の世界が現れる。

巡り方の  
コツ、  
お教えします!



研究員さんイチ押し!  
斉昭の美意識に  
触れる庭園巡り



右／千波湖を訪れる白鳥をモチーフとしたシュークリーム各380円で、黒鳥には黒ゴマを使用している。下／梅の時期限定で販売される梅ソフトクリーム。



## 千波湖沿いにあるカフェで癒やされる 好文cafe

水戸の街を象徴する千波湖を望み、絶好のロケーションに位置するカフェ。さっぱりした梅ソフト、レモンの酸味に梅の甘酸っぱさが加わった梅レモネードなど、水戸の梅を使った限定メニューが味わえる。また、常陸牛や奥久慈卵などの地元食材を使った料理や、徳川慶喜が飲んでいたコーヒーの味を子孫が再現したという「将軍コーヒー」などもぜひ試してみたい。

●茨城交通「水戸駅(北口)」から「偕楽園方面」行き約18分の「偕楽園・常磐神社前」下車、徒歩10分。10～18時、無休。☎029・244・1141



千波湖の湖畔に立ち、見晴らしの良さも人気のポイントになっている。

偕楽園や千波湖散策の帰りにぜひお立ち寄りください！



「ここに来たかった」と言っていただけの店でありたいと思っています

梅の風味を生かした個性的な洋菓子、梅ボンボン1080円(12個入り)。気軽にぱっと口にできるのもうれしい。

## こだわりのスイーツとパンをご賞味あれ フレッシュグリーン

20年前にケーキ店として開業し、2023年にはカフェを併設。店頭には旬のフルーツなどを使ったケーキや約20種のパンが並び、カフェでは週替わりのランチセットなどが提供される。店主自らが考案した「梅ボンボン」は、青梅と赤梅「つゆあかね」をブレンドした梅ペーストが特徴的な洋菓子で、口に運ぶと甘酸っぱい香りがふわりと広がる。水戸市優良観光土産品にも認定されている



●茨城交通「水戸駅(北口)」から「茨大正門前」行き約9分の「大工町三丁目」下車、徒歩1分。10～19時、火休。☎029・221・6220

フレッシュなフルーツを詰め込んだオリジナルケーキのフルーツの Rond 610円は、生地が縦に層になっているのが印象的だ。

## 水戸で最も古い歴史を持つ老舗提灯店 蔭山利兵衛商店

1798年(寛政10)創業、220年以上続く水府提灯の老舗。お盆や祭礼などさまざまな場面で活用される提灯は、印刷技術が進化した現在でも、丁寧に手描き加工している。中でも、茨城県伝統工芸士の蔭山興一さんが手掛ける「梅の香」「梅乃輪」は、偕楽園の梅を表現した優美な逸品。提灯作りワークショップで伝統技術に触れることもできる。

●茨城交通「水戸駅(北口)」から「浜田営業所」行き約7分の「本町三丁目」下車すぐ。9～19時、無休(年末年始・お盆を除く)。☎029・221・3666

右／提灯作りを体験しながら、水戸の歴史に思いを巡らそう。※体験内容は公式ホームページでご確認ください。左／大小さまざまな提灯が並ぶ店内。



ぜひ水府提灯作りを体験してみてください



伝統工芸士の手仕事で丁寧に仕上げられた水府提灯。



提灯の魅力をぜひ知っていただきたいです！

水戸の梅巡りの思い出に華を添える梅提灯手作りキット2200円。

左／古くから日本に根付いた提灯の機能性の高さにも注目したい。右／モダンなデザインの提灯は、現代のインテリアとしても重宝する。

## 伝統と革新の姿勢で水府提灯の歴史を紡ぐ 鈴木茂兵衛商店

1865年(慶応1)の創業以来、160年の歴史を刻む提灯専門店。水府提灯の伝統を重んじながらも、LEDランタン型提灯の開発や梅まつりの照明演出への協力など、革新的な取り組みにも挑み続ける。剪定された偕楽園の梅の枝で染めた西ノ内和紙を使う梅提灯手作りキットは自宅で手軽に提灯作りが体験できる。そこには「作ることを楽しんでほしい」という思いが込められている。

●茨城交通「水戸駅(北口)」から「茨大前営業所」行き約16分の「盲学校前」下車、徒歩2分。9～18時、土・日・祝休(6月1日～8月12日までは水のみ休)。☎029・221・3966



レストラン『好文cafe』は、千波湖のほとりに立つ。大きなガラスが全面に設えられ、店内からでも湖の景観や周囲に広がる自然が堪能できる。梅の時季限定の「梅ソフト」は、爽やかな梅の風味が口に広がる。寒い時期だからこそ、温かい室内で味わいたくなる人気の一品だ。他にも茨城県産の食材を使ったメニューが充実しているので、あわせて味わいたい。

水戸の梅巡りはお土産探しで締めくくりたい。ケーキなどの洋菓子やパンを販売する『フレッシュグリーン』の店主・吉原悦子さんが開発したのは「梅ボンボン」。チョコレートボンボンが開発のヒントになったという。青梅と赤梅をブレンドしたこだわりの梅ペーストを梅シロップで煮詰め、甘酸っぱい梅の味わいをぎゅっと凝縮したアイデアが光る。

『菓匠にいつま』は、2代目の新妻則夫さんが手掛けるバラエティーに富んだ大福が人気の和菓子店だ。水戸産の梅「ふくゆい」を使った大福「水戸乃梅ふくゆい みともち」は、爽やかな梅の香りが口に広がる。看板商品「かりんとう饅頭」も、梅の時季には粒あんに梅ペーストを加えた「水戸乃梅ふくゆいかりんとう饅頭」が登場する。

水戸駅まで戻ったら『亀じるし』にも立ち寄りたい。170年以上の歴

と弘道館を舞台に「野点茶会」や「全国梅酒まつり」などが催される。夜には提灯や光のアートで梅林がライトアップされ、昼とは違う幻想的な梅の世界が広がる。

水戸のもう一つの名物といえば、「水府提灯」だろう。およそ400年前から続く水戸の伝統工芸として、今も大切に受け継がれている。梅まつりのライトアップにも水府提灯が用いられ、幽玄な世界観を醸し出している。

『蔭山利兵衛商店』は、水戸で現存する一番の老舗として、220年以上の歴史を誇る。「水府提灯の特長は、とにかく丈夫で長持ちすること。引っぱったぐらいじゃ破けない。日常的に使うものだから」と教えてくれたのは、茨城県伝統工芸士でこの店の9代目を務める蔭山興一さんだ。商品は全てオーダーメイド、職人が手を掛けて丁寧に製造している。

2軒目には『鈴木茂兵衛商店』を訪ねた。店主・鈴木紘太さんの「伝統を守りつつ、新しい挑戦もしていきたい」という言葉どおり、伝統的な提灯だけでなく、現代にもマッチしたモダンな提灯をいくつも開発している。その挑戦はデザインだけでは収まらない。明かりにLEDを取り入れるなど、日本が大切にしてきた提灯の文化を今の時代に取り込む工夫にあふれていた。

乗るだけでも  
面白い!

# みちのり のりもの図鑑

ERGA EV●関東自動車

Vehicle  
picture book  
FILE. 08



①最後部座席までフルフラットフロア。②EV固有の情報も分かりやすく伝えるメーターパネル。③車内にも、英文併記で「この車両は、栃木県宇都宮市でつくられました。」と掲示。④関東自動車路線バス部の福島崇文さん。



本路線バスに最適化した。日

スマートモビリティの未来が宇都宮から発達  
みちのりホールディングスは、東京電力ホールディングスと連携して電気バス向けエネルギーマネジメントシステム(バスマ EMS)の開発に2022年度から取り組んできた。その導入先であるみちのりホールディングス傘下の3社で実用化に向けた検証が続けられ、その中で関東自動車が先陣を切って大規模な電気バスの導入を決定。29年度までに、大型バスの7割に当たる158台の導入を目指している。24年1月には、初導入となる中国製の電気バスを披露し、その先進的な性能と経済性、運転時の静音性などに注目が集まった。そして今年、いすゞ自動車社製車両の導入も決まり、11月18日にお披露目式が行われた。会場には電気バスの実車が展示公開され、日本

今回導入されたいすゞ自動車社製の「エルガEV」は、モーター走行による走行中の二酸化炭素排出ゼロ。左右後輪の内側に独立したモーターを設置し、バッテリーやEV機器の配置を最

## エコな新型電気バスで快適な乗り心地の旅を

EVシステムや、各種モニターによる充実した安全性など高い関心が集まった。とりわけ参加者の目を引いたのは、車体側面上部に書かれたMade in Utsunomiya Tochigiのフレーズ。関東自動車路線バス部の福島崇文さんは、「国内初のフルフラットEVバス、しかも宇都宮工場で製造された電気バスが、宇都宮市内を走ることには大きな意義を感じています」と感無量の表情。新型の電気バスは、今年度内にさらに台数を増やして走行する予定となっている。

適化したことで、段差がないフルフラットフロアによる快適な車内空間が広がっている。そして、電気バスの運行管理とエネルギーマネジメントを同時に行うバスマ EMSにより、充電タイミングの分散による電力負荷軽減や再生可能エネルギーの優先調達、蓄電池容量の低減などを実現。電気バスのライフサイクルコストの削減と地域におけるカーボンニュートラル化の両立も目指す。福島さんは、「地元産業を支えてきた大谷石の歴史を伝える大谷資料館(左写真)など、地域文化の魅力が体験できる街歩きにぜひ活用してほしいですね」と期待している。



「宇都宮駅西口」から「大谷・立岩」行き約30分の「資料館入口」下車、徒歩5分。巨大空間が広がる地下の採掘場跡が目玉。



上/梅の風味を生かした梅ソーダ。右/水戸乃梅ふくゆい みともち 180円は、日本茶検定を持つ3代目が厳選した日本茶とともに味わいたい。



水戸乃梅ふくゆい みともち 180円は、日本茶検定を持つ3代目が厳選した日本茶とともに味わいたい。



立ち寄られた際には、和菓子と日本茶をゆっくり味わってくださいね



## 親子で営む、伝統とモダンな老舗和菓子店 菓匠にいつま

水戸産の梅「ふくゆい」を使った梅大福やかりんとう饅頭が人気の和菓子店。初代は早くからいちご大福を販売し、2代目はシュークリームの中に大福が入った「シューあら大福」を手掛けるなど、ユニークな商品も多い。本店から徒歩1分のところにある「菓匠にいつま hanare」では、3代目が和菓子と日本茶とのペアリングを提案してくれる。注文を受けてから焼き上げるどら焼きも人気が高い。

●茨城交通「水戸駅(北口)」から「赤塚駅北口」行き約24分の「堀町団地」下車、徒歩1分。8時~18時30分。☎029・251・8772

## 創業1852年の歴史を誇る名品を堪能 亀じるし エクセルみなみ店

創業以来170年以上にわたり水戸の梅文化を和菓子で表現し、全国菓子博覧会で2度の名誉総裁賞に輝く。梅をテーマにした多彩な商品で、水戸ならではの味と伝統を伝えていく。中でも店を代表する商品といえば、100年以上伝統の味を守り続ける「水戸の梅」だろう。滑らかな白あんを柔らかい求肥でくるみ、甘酸っぱく漬けた赤じそで大切に包んだ、水戸を代表する銘菓で知られている。

●水戸駅直結の駅ビル・エクセルみなみ。10時~20時30分、無休(不定休あり)。☎029・231・7675



甘さの中に赤じそと梅酢の芳醇な香りが広がる深い味わいは、濃いお茶と合わせて楽しみたい。



上/JR水戸駅に直結する駅ビル内にある店舗。銀梅の帰りに立ち寄る客も多い。下/みやびの梅270円も40年以上愛される代表銘菓。季節や毎日の気候を加味しながら、職人が技術と知恵を駆使して作っている。



史を有する老舗が誇る看板商品「水戸の梅」は、水戸土産の定番中の定番だ。偕楽園や弘道館を散策し、提灯店では職人の技に触れ、梅菓子を味わい尽くした一日。徳川斉昭が愛した梅を巡る旅は、この時期の水戸だからこそ貴重な体験になった。



かつての産業施設がよみがえる

### ●2026年1月5日まで 北沢浮遊選鉱場 ライトアップ

〔新潟県佐渡市・北沢浮遊選鉱場〕

佐渡鉱山で採掘された鉱石から金銀を取り出すために建設された北沢浮遊選鉱場。東洋一の規模ともいわれた巨大なコンクリート遺構が色彩豊かなLED照明によって照らされ、日中とは異なる雰囲気を楽しめる。17～22時。  
☎0259・67・7602（佐渡市観光振興課）

アクセス 佐渡汽船「両津港」から車で約50分



宇都宮の中心市街地を華やかに演出！

### ●2026年1月18日まで うつのみやイルミネーション2025

〔栃木県宇都宮市・釜川、オリオンスクエアほか〕

釜川やオリオンスクエア、中心商店街などの中心市街地が約26万球のLEDによる華やかな輝きに包まれる。釜川沿いは樹木イルミネーションで彩られ、川面に揺らめく光も幻想的。夜の散策を楽しもう。17～22時。☎028・632・8215（宇都宮まちづくり推進機構）

アクセス 関東自動車「宇都宮駅」から「細谷車庫」行き約4分の「県庁前」下車すぐ



山道を登って大わらじを奉納

### ●2026年2月21・22日 信夫三山暁まいり

〔福島県福島市・羽黒神社、市内各所〕

21日には長さ12m、幅1.4mの日本一の大わらじを約100人で担ぎ上げ、市内中心部を練り歩いた後、信夫山に鎮座する羽黒神社に奉納する。その昔、神社に安置されていた仁王様の足の大きさに合う大わらじを作って奉納したことが由来。☎024・525・3720（福島市にぎわい商業課）

アクセス 福島交通「福島駅東口」から「福島市内循環コース、2コース」約10分の「福島テレビ」下車、徒歩10分



大俵を引いて米の相場を占う

### ●2026年1月14日 坂下初市～奇祭大俵引き～

〔福島県会津坂下町・会津坂下町役場前メインストリート〕

江戸時代から約400年続く、豊作を祈る正月行事。町役場を中心に上町（東）と下町（西）に分かれて重さ5トンもの大俵を勇ましく引き合う。上町が勝てばその年の米の値段が上がり、下町が勝てば豊作になるといわれている。☎0242・83・2111（会津坂下町観光物産協会）

アクセス 会津坂下駅から徒歩5分



巨大な雪のすべり台に興奮！

### ●2026年2月14・15日 第48回青森冬まつり

〔青森県青森市・青い海公園（アスパム裏）〕

陸上自衛隊青森駐屯地が製作する雪の大型すべり台が子どもたちに人気のイベント。そのほかにもグルメを味わえる出店コーナーや棒パンコーナー、ステージイベントなど、家族で楽しめる催しが盛りだくさん！ 9～15時。☎017・723・7211（青森観光コンベンション協会）

アクセス 青森駅から徒歩8分



豊年満作を祈る八戸の伝統芸能

●2026年2月17～20日

### 八戸えんぶり

〔青森県八戸市・長者山新羅神社、八戸市街地、市庁本館前市民広場ほか〕

馬の頭をかたどった烏帽子をかぶった「太夫」と呼ばれる舞い手が、頭を大きく振りながら独特の舞（摺り）を繰り広げる。摺りの合間には子どもたちによる愛らしい祝福芸も。八戸地方に春を呼び、その年の豊作を祈願する伝統行事。

☎0178・70・1110（VISIT はちのへ）

アクセス JR八戸線本八戸駅から徒歩10分（市庁本館前市民広場）



アクセス 岩手県北バス「盛岡駅前（東口⑦）」から「宮古駅前」行き106特急約1時間40分の終点下車、「宮古駅前③」から「奥浄土ヶ浜」行き約8分の「シートピアなど」下車、徒歩3分

宮古の冬の味覚に舌鼓！

### ●2026年3月上旬（予定） 宮古毛ガニまつり

〔岩手県宮古市・宮古市魚市場特設会場〕

全国でも有数の毛ガニの水揚げ港として知られる宮古港。三陸産の毛ガニや特産品の販売、グルメ屋台、豪華賞品が当たる抽選会などを実施予定。詳細は宮古観光文化交流協会ホームページを確認。https://kankou385.jp/

☎0193・62・3534（宮古観光文化交流協会）



自然と光が織り成す神秘的な美しさ

### ●2026年1月12日まで 2025大子来人～ダイゴライト～

〔茨城県大子町・袋田の滝周辺〕

日本三名瀑の一つ、高さ120m、幅73mを誇る袋田の滝をライトアップ。光のトンネルをくぐり抜けると雄大な滝が闇夜に浮かび上がり、まるで水墨画を見ているかのよう。日没～19時。入場料大人500円、子ども300円。☎0295・72・0285（大子町観光協会）

アクセス 茨城交通「袋田駅前」から「滝本」行き約7分の終点下車、徒歩10分。または袋田駅から車で約10分

# 会津若松遊覧マップ

七日町通りを中心に、レトロな古民家を改装したおしゃれな内装の雑貨店、物産店、民芸店、洋品店などが立ち並び、魅力的なお土産の種類が豊富。またさまざまな施設に各種体験コーナーがあり、何かチョイスしてぜひ楽しみたい。明治モダン、大正ロマン、昭和レトロと三拍子そろった風情ある街並みは、どこかしらポップな明るさがあります。



メーカーズマーク  
漬け込みハイボール  
880円

今回いただいたのは「甘栗」。時季ごとに漬け込み素材は変わり、何が出るかはお楽しみとのこと。



フルーツパフェ

495円

自家製ソフトクリームでフルーツはフローズン。時間帯問わず、そして通年あります。

## 「DOG HOUSE」

自家製  
ビーフジャーキー  
990円



まぐろとアボカドの  
ピリ辛カルパッチョ  
935円



店主  
堀金さん

料理自慢で人気のパブレストラン。おすすめの「まぐろとアボカドのピリ辛カルパッチョ」はほどよい辛さで、ごま油と玄米フレークのサクサクがアクセント。珍しい「自家製ビーフジャーキー」は部位に種類があり、さまざまな風味が楽しめます。お酒では「メーカーズマーク漬け込みハイボール」が楽しい。そして深夜に食べる「フルーツパフェ」はお酒のシメに最適です。



赤い幕に「ロック酒場」とあるように、不定期でライブを開催。

会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約4分の「七日町白木屋前」下車、徒歩1分。11~14時・17~翌1時(土・日・ランチ営業なし)、火休。  
☎0242・27・5858

# 「会津バーガー ラッキースマイル」

人気のハンバーガーショップ。おすすめは「会津美人（べっぴん）バーガー」。粗びきのパティは厳選されたUSかオーギー牛。赤身中心で店独自の配合でひいた肉は、歯応えがあり風味が濃い。アボカド、3種のチーズ、たっぷりの野菜、そしてガーリックチップがアクセント。本格派のハンバーガーです。ボリュームがあるが、意外にサクッと食べられてしまいます。



調理に時間がかかるので予約は必須です。会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約5分の「七日町中央」下車、徒歩1分。11時30分～19時30分、月・金休。  
☎0242・23・8241



店主  
皆川さん



いかにきれいに  
食べるかが一つ  
のチャレンジ。

メロン  
ソーダ  
250円

会津美人バーガー  
1000円  
他にも会津にちなんだ名前のバーガーがいろいろ。ランチセット(+300円)はソフトドリンク&スープ付き。

# 「渋川問屋」

明治創業の海産物問屋から続く歴史ある会津郷土料理店。色とりどりのコースは身欠きにしんや棒たらなど、会津らしい干物をメインの素材にしつつも、みずみずしくて風味豊か。さらに会津牛や季節の果物など。心のこもった穏やかな料理たちとともに、歴史に思いをはせましょう。

会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約10分の「阿弥陀寺東」下車すぐ。11時～14時30分LO・17～19時LO、無休。  
☎0242・28・4000



●会津若松駅までは会津バス的高速バスの利用が便利。  
☎会津乗合自動車☎0242・22・5555

祭り御膳(亀)  
3800円  
季節ごとに内容が  
変わります。

にしんの天ぷら



そば粒がゆ

棒たら煮



季節の混ぜごはん(まいたけ)



食前酒  
(にぎり酒)

先付  
(松前漬)



こぶゆ

にしんの山椒漬



会津牛

紅鮭寿司



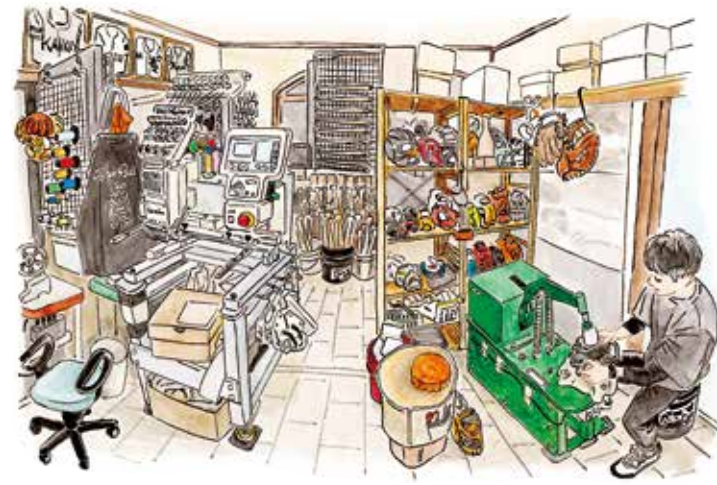
水菓子(梨)

女将  
渋川さん

# 施設 & スポット

## バンダイスポーツ七日町店

レトロな建物が印象的な、野球専門のスポーツ用品店。グローブの型付けで知られているそう。入り口すぐ左手に工房があり、グラブプレスや革用の刺しゅう機、革用ミシンなどが置かれ、ここでグローブの型付け作業を中心に、刺しゅう、スパイクの補強などが行われています。型付けは日本全国からプロアマ問わず依頼があるそう。1926年に建てられた塚原呉服店の外観をそのまま残しつつ、側面の「野球工房」の看板がさすがにいい。



手でもみ  
んだり。



木づちでたたいて  
手のひらのシワを  
伸ばしたりと、手際  
よく作業します。

オリジナルマス  
コットの「パンぶ  
る君」が人気。



マネージャー  
小林さん



会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約5分の「七日町中央」下車すぐ。11～19時、日休。☎0242・27・8118

## 会津新選組記念館(むかしや)

1階が新選組グッズなどを中心にした雑貨店。2階が展示室で、スペンサー七連発騎兵銃やスナイドル銃、やりなどの武器や軍服などの軍装品、月岡芳年などの錦絵版画などが展示され、コンパクトながら充実している。1階はグッズ以外にも幕末出来事相関図や郷土資料集など興味深い書籍も販売しています。



会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約5分の「七日町中央」下車、徒歩1分。10～17時、不定休。  
☎0242・22・3049

新島八重も使った  
スペンサー七  
連発騎兵銃。

## アカベコランド 七日町店

赤べこの絵付け体験ができる施設で、お隣は赤べことグッズの販売店。ソファや畳に座ってゆったりと絵付け体験ができます。作業手順の説明シートを見て描いても、またオリジナルの模様を描いてもよし。時を忘れて没頭してしまいます。ショップでは、酪王牛乳べこやJR東日本とコラボした新幹線べこなどユニークなべこも。

会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約5分の「七日町中央」下車、徒歩1分。10～17時、無休。  
☎0242・23・9190



酪王牛乳  
べこ

新幹線べこ

絵付けセット

## 会津武家屋敷

会津藩家老「西郷頼母邸」を復元した家老屋敷を中心に旧中畑屋や各種資料館からなる大規模な施設。当時の様子が入形などで再現され、さまざまな調度品の展示では人々の暮らしぶりが感じられます。また各種体験スペースもあります。



立体的な刺しゅう  
が施された打掛。

会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「あかべこ」約13～20分の「会津武家屋敷敷前」下車すぐ。9時～16時30分、無休。  
☎0242・28・2525

## 昭和なつかし館

1階がアンティークショップ。2階に昭和の居間と路地裏を再現。昭和時代の看板や自転車、冷蔵庫、電気釜などの家電製品や生活雑貨などが所狭しと展示され、昭和レトロが横溢する空間です。



会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約4分の「七日町白木屋敷前」下車、徒歩1分。10～18時、不定休。  
☎0242・27・0092

恋する♡当地民芸

# 南部鉄器

【岩手県盛岡市／釜定】

伝統の技が息づく各地の手工芸品の中でも、心ときめく魅力に満ちた逸品をご紹介します。  
今回は、盛岡市の伝統的工芸品「南部鉄器」。その重厚感が、歴史の重みを感じさせる。

## オーナメント

左／鳥(a) 右／かわせみ  
各7000円

彫塑が得意で、数々の受賞歴を誇る2代目・昌太郎氏がデザインした南部鉄器の置き物。暮らしの中にアートピース(芸術作品)を象徴的に用いる欧米の習慣から発想を得たアイテム。鳥のほか、馬や魚など多彩なモチーフで制作している。



南部藩主の保護下で育まれた盛岡の南部鉄器。サビ止めの熱処理技法や鉄瓶の表面を覆う「霰」と呼ばれる模様などが、長い時を経て培われてきた技術の発展を物語っている。

紺屋町に店舗と工房を構える「釜定」。

1908年に「宮鉄瓶店」として創業し、現在は宮伸穂さんが3代目を継ぐ。16歳で父・昌太郎氏が早世したのを機にこの道を志し、恩人の勧めで金沢美術工芸大学に進学。さらにフィナンランドへ渡り、シンブルながら愛着が湧く北欧デザインに感銘を受けたことがその後の指針を決めた。「家業の鉄器を、いかに今の人に使ってもらえるか」を考え、息の長いプロダクトの理想を目指した。

近年、海外からも熱い視線が注がれている南部鉄器。造形の美を追求した先代に敬意を抱きながら、「さらに先の世代へと続く仕事かしたい」と目を輝かせる宮さん。現代のキッチンに寄り添う羽釜や洋室にマッチする燭台など、鉄の本質的な美しさを生かした鉄器作りに創作意欲を燃やしている。



●岩手県北バス「盛岡駅前(東口6番のりば)」から「盛岡バスセンター」行き約15分の終点下車、徒歩4分。9時～17時30分、日休。  
☎019-622-3911



上／初代から受け継ぎ、実型(さねがた)と呼ばれる鋳型の土台が積まれている工房内。創業以来、土間の砂を繰り返して鋳型づくり使用してきたという。右／鉄瓶の持ち手などの各パーツは、形状や寸法が記された詳細な図面を基に製作される。



鋳型から取り出したばかりの鉄器は銀色の輝きを放っている。ここから、さまざまな熱処理や研磨、着色、組み立てなど多くの工程を経て完成に至る。

鉄ならではの重みや光沢、金気の匂いまで長く愛し続けることができる鉄器づくりを



多彩なふたの形状が見た目に楽しい灰皿。小物入れや花器といった、本来の使い道以外にも想像がかき立てられる。

鋳型を焼き固める昔ながらの「焼き型」の製法で手掛けられる鉄瓶の陳列棚。大きさや形状、装飾スタイルなどは歴代の頭主や職人がそれぞれ考案し、バラエティーに富んでいる。



真剣なまなざしで、鋳型の内側に「霰」模様を打つ長男の昌太郎さん。炉で溶解した鉄を流し込み、型から取り出したあとで模様の出来が気に入らないと廃棄することもあるという。ちなみに、名前は2代目と読みが一緒だが一字違い。



これも遊び心が映える鋳物のペンダント。埴輪や魚、おろし金など意外性のあるデザインが並ぶ。





福島交通・会津バス

## 福島交通と会津バスの経営統合のお知らせ

両社ブランド・車両デザインは継続します

みちのりグループの福島交通株式会社および会津乗合自動車株式会社は令和8年4月1日をもって合併いたします。1社になることで、福島県内広域で利便性の高い交通ネットワークを展開するとともに、新しいサービスの開発や投資をより積極的に行っていく所存です。

### 地域ブランドの維持について

「福島交通」「会津バス」「あいづタクシー」の名称および車体デザイン・カラーリングは地域の皆様に長年、親しみを持って接していただいておりますので合併後もこれらの名称・デザインで運行いたします。

### ICカードの取り扱い

福島交通の「NORUCA」、会津乗合の「AIZU NORUCA」は、引き続きご利用いただけます(両カードの共通利用も引き続き可能です)。



福島交通



会津バス

## 読者 PRESENT

P36・37でご紹介した商品をプレゼント！  
編集部セレクトの商品に応募してみませんか？



オーナメント 鳥(a)・かわせみ 各1名さま  
盛岡市にある『釜定』で販売されている「オーナメント 鳥(a)・かわせみ」。詳細はP36・37をチェック！

### ●応募要項

応募締切：2026年2月28日(土)

ハガキに 1 お名前(ふりがな) 2 年齢 3 性別  
4 郵便番号とご住所 5 電話番号 6 プレゼント名  
7 右のアンケートの回答を明記の上、郵送してください。

### ●送り先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-11-7F  
㈱交通新聞社 コミュニケーションデザイン事業部  
「みちのり2025年冬号」係



スマートフォン、タブレットからの  
応募はこちらから

### アンケート

#### みちのり2025年冬号について

- A 一番面白かった記事、コーナーは？
- B みちのリエリアで、おすすめの歴史スポットを教えてください。  
また、アンケートの内容は冊子制作の参考にさせていただきます。

#### 今回の高速バス・船のご利用について

- C 利用路線 D 利用用途 E 同行者数
- F みちのりグループの高速バス・船利用頻度
- G 高速バス・船を使用する際に見る情報源は
- H 車内のフリーWi-Fiについて
- I 導入してほしいサービスや、新しい路線など
- J ご意見やご要望

アンケートにお答えいただいた方全員に  
「ダイアリング スマホハンドストラップ」をプレゼント！

※ブルー、ブラウン、グレー、パープルの4色ございます。  
色はお選びいただけません。



